



11月19日に市長室で行われた
市長対談の様子

ンを持つことです。皆さんが同じ方向を向くことで、非常に強い力が生まれます。その思いを明確にすることが大切だと思います。

市長

井元さんには3つのロゴとコンセプト作りにご協力いただいています。今回の日胆地区の取り組みで、連携の大切さとともに、さまざまな思いを持った組織をひとつにまとめるための、指針や目標の重要性を再認識しました。

吉田

広報紙は、「とどけます まちのこえ まちのいいところ」をコンセプトに、まちの魅力や頑張っている人を紹介しています。若い人にもっと見ていただきたいと、カラーを生かした、インパクトのある表紙デザインに変えてみました。ホームページは、全世界に発信できる媒体として、港と空港が近いことを前面に押し出

して、苦小牧の良さを知っていただけるようなものリニューアルしている最中です。いずれもただ情報を流すのではなく、ニーズを把握しながら、戦略的なプランを持った広報活動を検討しているところです。



八木さん

今ある地域の魅力をそのまま伝えるだけではなく、魅力を作るところから、皆さんと一緒に関わりたいと思いい、ホッキ炙りめしなどのご当地グルメの開発に携わっています。グルメや港をきっかけに苦小牧に来た方が、さらに一歩足を伸ばして遊んだり、買い物したり、苦小牧でどうやって一日楽しめるかというテーマを、もっと考えたり、PRができればいいですね。



▲ホッキ炙りめし販売開始
試食会の様子

市長

私は今、「20年後も食べていけるまち」を目指したまちづくりを進めています。皆さんの意見にもありましたが、どうやって次の一歩、未来への一歩を踏み出させるか、これがキーワードになると感じました。

テーマ
3 X
これからの苦小牧に
期待すること

市長

最後に、これらのことを踏まえて、これからの苦小牧にどんなことを期待するかという話をお聞かせください。

井元さん

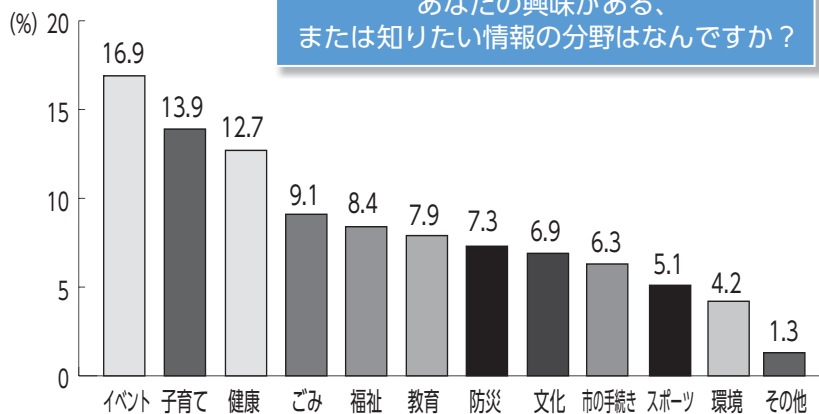
今後さらにまちが発展するためには、統一されたビジョンにプラスして、ドキドキワクワクするような要素が必要だと思っています。例えば吉田さんが最初に言っていた住みやすさを生かして、北海道の中で住みたいまちナンバーワンを目指すというのも面白いと思います。簡単ではないと思いますが、既成概念にとらわれない自由な試みを是非行ってほしいですね。



大宮さん

このまま何もしなければ、20年後は人口も減っているし、経済も間違いなく悪くなっていると思います。その中で生き残るためにも、このまちの高いポテンシャルを生かし、市が信念を持って前に進むことで、企業や市民がついて行けるようになればいいですね。そうすることで、私たちのような中小企業にチャンスが

あなたの興味がある、
または知りたい情報の分野はなんですか？



アンケートにより、さまざまな年代の方が、多様な分野の情報を広報紙に求めていることがわかりました。その他のアンケート結果については、ホームページでご覧になれます。

